

会 議 録	
会議名	令和 3 年度第 3 回在宅医療・介護連携推進協議会 広報啓発部会
日 時	令和 4 年 1 月 25 日 (火) 13 時 30 分～14 時 15 分
会 場	WEB 会議 (グーグルミート)
参加者	<p>【部会長】吉寄 太朗 (吉崎歯科医院)</p> <p>【副部会長】丸山 菜穂子 (みさと南訪問看護ステーション居宅介護支援事業所)</p> <p>【委 員】磯 知恵 (地域包括支援センターみさと南)、白井 健志 (三郷中央総合病院)、栗原 一樹 (采女の里デイサービスセンター)</p> <p>【サポートセンター/医師会事務局】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】八巻絢子 高橋真一</p>
検討課題	<p>1. 今年度の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子制作について</li> </ul> <p>2. 次年度の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の方向性</li> <li>・三郷市在宅医療・介護連携推進協議会で上げられた課題などを参考に次年度のテーマを検討。</li> </ul>
内 容	<p>1. 今年度の振り返り</p> <p>■冊子制作について</p> <p>人生会議の本 B5 マット紙 110 kg 2000 部 (委員の意見)</p> <p>前回の介護の絵本のイメージを引き継ぎながら、オリジナリティがあって良い出来でびっくりしました。終末期だけでなく、日常でも気軽に取り込めるというメッセージが伝わってきます。世代を問わずに読んで貰えるものになりました。みんなの意見が集約されていて良かったです。凄くわかりやすいです。参考例もあり、人生会議の流れも汲み取りやすくなりました。読みごたえもあり、順を追っていて分かりやすいです。色々な人に手に取って貰いたいです。吉寄先生とご家族に負担がかかってしまいました。</p> <p>■市民への配布方法について</p> <p>前回の配布では介護医療関係者に配ったり、公共施設にも置いて貰いました。今回も同じ方法で行い、三郷市と医師会で協議して配布してい</p>

きます。

配布先：居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・病院連携室・介護事業所・薬局・公共施設など

(委員の意見)

関係者には配れているが、実際に市民に配れているか。電子データにして落とせるようにしたらどうでしょうか。

三郷市：今年も図書館の電子図書として、図書館の HP から見るができるようにしています。また、市民へお知らせ（ツイッター、フェイスブックなど）をして、周知します。三郷市の HP でもリンクを貼ります。教育委員会にお願いして子供たちにも配布します。

## 2. 次年度の方針、

### ■広報啓発部会の目的、次年度の方針について

「市民が在宅医療や介護について理解し、在宅療養に必要なサービスを適切に選択できるようにする。また、適切な在宅療養を継続するために、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解促進をする」

次年度もこの目的に沿って、地域の課題に対して市民向け研修会や講演会、冊子の作成などを行います。

コロナ感染症の蔓延状況により、広報啓発の在り方を検討します。

### ■次年度の部会委員について

2年任期となっているので引き続きお願いしました。

### ■次年度の方向性、内容について

次年度について内容決定はまだであるが、方向性を協議しました。

#### A. 今までの広報啓発部会（3年）の流れ

##### 1. 在宅入門について各職種から聞ける会

(コロナ感染症の為、継続延期)

##### 2. 介護の実践（コロナ感染症の為、延期）介護の入口→

介護の絵本の作成

##### 3. 看取り→人生会議の絵本の作成

#### B. 在宅医療介護連携推進協議会で検討している議題（市民向け）

##### 1. 日常の療養について：定期受診が出来ない

定期受診の必要性を理解して貰う。利用者や家族が往診に切り替えられる情報など目で見れる機会を作る。

どのようなサービスができるのかを提供する側の周知を徹底する。

##### 2. 急変時の対応について：訪問・通所・短期入所を組み合

わせ、在宅療養を継続できる仕組みは構築されているか。  
市民が在宅医療の生活イメージを持てる状況を作る。

3. **入退院支援について**：入退院の流れの中で医療と介護の有機的な連携を行う事ができているか。

公共施設に介護コーナーの設置、市民が在宅医療のイメージを持てる状況作り。

4. **看取りについて**：看取りについて認識・理解されているか。  
意思が共有されているか。

市民が ACP や在宅での看取りについて関心が持てるようにする。市民が目にする事の出来る媒体を作る。

身近に感じられる機会を増やす。

(委員の意見)

・吉寄：2年間でやったこと相談入口～ACP という流れでやっていないのは急変時の対応と看取り 2～4 かなと思います。皆さんが作った資料を下されば、今回のようにまとめるのは大丈夫なので心配しなくても良いです。

・丸山：吉寄先生が良ければ、絵本 3 部作もよいかと思います。在宅医療で看取りもいいかなと思いました。個人的には認知症のケースで医療とどう連携していくか、地域でどう支えるかで悩んでいます。家族が認知症になったらと悩んでいる人はいると思います。

・白井：在宅で生活している人が介護をどう利用できているか、三郷市にどういう社会資源があるか等、読んでくれた方が在宅でどうできるか看取りも含めて、考えられることが、今までやってきたことのまとめになるのではないのでしょうか。在宅で過ごせる為に、家での過ごし方の選択肢が増えて、知らずに頑張ったということがないような市民への広報啓発ができればと思います。

栗原：絵本については非常に親しみやすく、続けるのが可能ならよいかかなと思います。協議会の課題の中で「日常の療養について」とあります。通所介護の仕事をしていますが、介護サービスを使っていて医療サービスを受けていない方が多くいます。医療的ケアが必要なケースでも家族が頑張ってしまう印象があります。そういった方に、在宅で生活していても介護や医療のサービスを併用して安心して過ごせるように紹介ができれば、より馴染みやすくこちらも紹介しやすいと思います。

磯：地域包括支援センターでも一人暮らしで身寄りがないとか意思決定の代理者がいない方の在宅支援をすること、入退院のこと、亡くなった後の事とか問題を抱える方のケースが増えている。ACP とも関係して

	<p>いますが、生きている間からどういうふうに整理していくのか、この場で取り上げられるならどこかの機会と一緒に検討して頂けると良いかなと思います。</p> <p>吉寄：訪問歯科も周知がまだまだと感じていますし、皆さんの話した問題も感じています。広報啓発部会としてどうアプローチしたらいいか検討したいと思います。</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次年度の方針：次年度も今年度と同じやり方で進めていきます。</li> <li>2. 新年度の部会委員の選出は2年任期であるので引き続きお願いしました。</li> <li>3. コロナ感染症の状況を見ながら、研修会や冊子作成も含めて、方法を検討します。</li> <li>4. 協議会で上げられた課題等を再検討し、今後のテーマ選定、方向性を決定していきます。</li> </ol> <p>今年度の冊子配布：市と医師会事務局で相談し、配布方法、配布先、部数の詳細を決めて実行していきます。</p>
次回検討課題	<p>・次回までに実際に行う方法や、内容について各自意見を考えてきて頂きます。</p>
次回開催日時	<p>令和4年6月頃予定 13：30～</p>